

2017/09/06

金魚飼育日記

Vol.1

金魚マイスター(第2期):あいびい

本当は金魚すくいでもなじみある琉金をアツするつもりが、突然死(原因は最近の急な寒暖差の可能性大)してしまったため、急遽、9/4に新しい子を家に迎えました!

私の人生で飼育初挑戦の、背びれのない丸もの、らんちゅうにそっくりな「桜錦(さくらにしき)」です。らんちゅうよりずいぶん飼育はかんたんで、普通の金魚と同じように飼うことができるとのことで、チャレンジしてみます。たまに、金魚すくいにもまじっていますが、泳ぎがゆっくりなため、泳ぎの速い和金につつかれて弱っていることが多いです。



▲桜錦(9/4撮影・体長5センチ程度)

初めての金魚飼育でもかんたん!そして、なるべく長生きするように、金魚を家族に迎える準備について、今回の桜錦と一緒に以下でおさらいしたいと思います!

【金魚を長生きさせる3つのポイント】

ポイント① 元気な金魚を選ぼう!

何よりも大事なポイントです!

金魚すくいなら1日目、始まったばかりの朝日の金魚をすくうと good!

すくうときによく暴れ、体に光沢がある&ぷりぷり太っていて、傷のない子を選びましょう。

群れから外れて水槽の端で泳いでいる子は、病気などを抱えている可能性が高いので注意。

(次のページにつづく!↓)

ポイント② お水づくり

最初の飼育容器はバケツでも水槽でも OK(大きめがベスト)! しかも、浄水器のお水になら、そのまま金魚を入れても大丈夫です(ただしカートリッジ取り換え期間をすぎたものはダメ!)。

水道水なら、以下の方法でカルキを抜きましょう。

- 1)くんだ水を半日置いておく(ただし金魚すくいなどで急を要するときは不向きな方法)
- 2)市販のカルキ抜きを使う(100均などで手軽に手に入ります)
- 3)ビタミンCのアメを指でこすって溶かす(コンビニなどで手に入り、かんたん! さらに、ビタミンは、魚の体の表面の粘膜を保護してくれるので一石二鳥☆)←初めての人におすすめ☆

ポイント③ 1週間は塩浴トリートメントをしよう

金魚すくいの金魚は、とても疲れています。そんな体を休ませてあげるためにも、体に傷や病気が見当たらなくても、塩浴させてあげましょう。塩浴といっても、海水のように濃くしては逆に負担になるのでダメです。ポイント②で作ったカルキを抜いたお水に、粗塩(食塩だと添加物により金魚が死ぬ可能性があるので注意!)を入れて作ります。

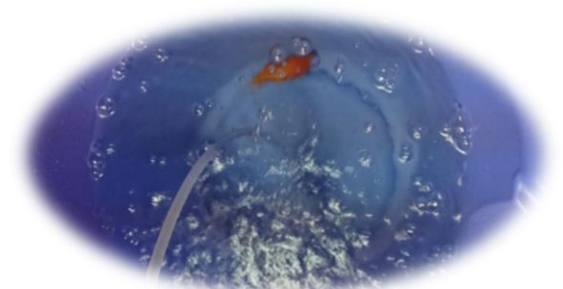
《塩浴の方法》

- 1)0.5%(カルキ抜きしたお水1ℓならティースプーン山盛り1杯、約5グラム)の薄い塩水を作りましょう
- 2)金魚を入れましょう(このとき、塩水と、もともと金魚が入っていた水の温度が同じくらいになっているのを確認して入れます。)
- 3)ぶくぶく使用で3日おきに水換え、使用していなければ毎日水換えして1週間様子を見ます。
- 4)4日目にエサをあげてみて、元気よく飛びついてくれば、その子は合格、塩の入っていない普通の水に切り替えて、飼育しましょう。長生きします!
もしも元気がないようであれば、もう少し様子見します(最大2週間程)。

私の桜錦はいま、ポイント③の3)の状態、まだ長生きするかどうか見極め中で、ドキドキしながら様子見しています。

もう少しくいけば、今度は正面からの写真と名前を載せます!

おたのしみに☆



▲塩浴する桜錦